

WINC (Workshop in Critical Theories)

連累する記憶と運動

沖縄／朝鮮のあいだから考える

持続的に戦後記憶の変容や錯視について取り組んできましたが、今回のワークショップでは、琉球大学から発信されたふたつの優れた新刊をとりあげ、2人の著者と4人の提題者を囲んで、白熱した討論の場を開きます。

新城郁夫『沖縄に連なる』
(岩波書店、2018年)

呉世宗『沖縄と朝鮮のはざまで』
(明石書店、2019年)

日時 2019年3月8日金曜日 12:00～

場所 東京外国語大学海外事情研究所 427

提題者 戸邊秀明 (東京経済大学、沖縄現代史)
佐藤 泉 (青山学院大学、日本近現代文学)
逆井聡人 (東京外国語大学、日本近現代文学)
崔 真 碩 (広島大学、朝鮮文学、ポストコロニアリズム)

主催 科研・基盤A「記憶論的転回以後の集合的記憶論の学際的再検討」
科研・新学術領域研究「移行期正義論・紛争解決学を応用した東アジア歴史認識問題解決の思想基盤構築」
東京外国語大学海外事情研究所・WINC

